

◆岡島尚志

論文 フィルム・アーカイブ間の新たな連携の可能性について／NFCニューズレター第114号

論文 フィルムたちのいるところ—アメリカ映画保存の現状を考えながら—／NFCニューズレター第116号

論文 映画、いまだとどまらず（スティル・ムーヴィング）——MoMA 映画コレクションの精華／NFCニューズレター第118号

論文 『アーカイブ立国宣言』（第3章：映画「デジタル・アーカイブは「保存」に役立つか」）／（ポット出版、平成26年11月）

論文 『羅生門』からはじまったもの 日本映画の美と力／（新潮社『芸術新潮』7月号、平成26年7月）

展覧会カタログ 論文 フィルムの夢、映画の自由—MoMA コレクションの上映を考える／「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」展

展覧会カタログ 作品解説 雲晴れて愛は輝く／「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」展

発表 東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品について／かがわ映画の楽校（会場：アルファあなぶき小ホール（高松）、平成26年4月13日）

発表 Pre-1914 Depictions of Conflicts (Symposium : World War I-A Hundred Years On)／国際フィルム・アーカイブ連盟 (FIAP)（会場：マケドニア科学芸術アカデミー（スコピエ）、平成26年5月6日）

発表 Ahead of the Time -buying Business : Film Preservation in Japan／韓国映像資料院 (KOFA)（会場：KOFAシネマテーク（ソウル）、平成26年5月23日）

発表 フィルム・アーキビストとは何か？／映像アーキビストの会（会場：フィルムセンター会議室、平成26年6月14日）

発表 映像遺産の保存と活用2014／相模原市民公開講座（会場：フィルムセンター相模原分館ホール、平成26年10月3日）

発表 映画保存の歴史とMoMA映画部／高知県立美術館（会場：高知県立美術館ホール）

◆岡田秀則

論文 新外映コレクション—概要と目録／『東京国立近代美術館 研究紀要』第19号

論文 《映画》と溶け合う《文字》——現代の映画タイトルと赤松陽構造の仕事／NFCニューズレター第114号

論文 西日本の二つの映画資料館——松永文庫と八丁座映画図書館／NFCニューズレター第115号

論文 ドミー／ドゥミー／ドゥミ——私たちのジャック／NFCニューズレター第116号

論文 展示室・常設展のギャラリー・トークと音声資料紹介の意義／NFCニューズレター第119号

論文 「映像の《永久発明論》マルケル、ルドゥー、ビオイ＝カサーレス、メドヴェトキン」、金子遊・東志保編『クリス・マルケル 闘争と遊動のシネアスト』（森話社、平成26年11月）

論文 紙上ディスカッション「なぜ映画の古典に帰る必要があるのか？」（L'ATALANTE N.18 (Associació cineforum L'Atalante)、平成26年10月）

論文 「門司港レトロから新聞スクラップで映画文化を伝える」（「スポーツニッポン」九州版（スポーツニッポン新聞社）、平成26年9月）

論文 アートダイアリー06：ジャック・ドゥミ 映画／音楽の魅惑（『文化庁広報誌ぶんかる』（文化庁web広報誌）、平成26年11月）

論文 「花田清輝と映画批評」（『展覧会図録「運動族・花田清輝」』（福岡市文学館）、平成26年11月）

論文 ディスカッション「震災をめぐるドキュメンタリー映画のアーカイブ」採録（ディスカッション「震災をめぐるドキュメンタリー映画のアーカイブ」採録（山形国際ドキュメンタリー映画祭）、平成26年11月）

発表 映画美術監督・久保一雄と戦前戦後の日本映画／カフェアリエ（会場：カフェアリエ、平成26年6月14日）

発表 平成26年度女性情報アーキビスト養成研修資料の保存・管理方法（フィルム・映像編）／国立女性教育会館（会場：国立女性教育会館、平成26年12月11日）

発表 Le film japonais indépendant des années 1960-1970 et son graphisme／ジュネーブ国際インディペンデント映画祭（会場：シネマ・ド・グリュトリ、平成27年1月17日）

発表 無声映画の興行に関する資料をめぐる／早稲田大学演劇博物館公募研究「無声映画の上映形態、特に伴奏音楽に関する資料調査」（会場：早稲田大学、平成27年2月4日）

◆大澤浄

論文 技術、経済、政策—日本の初期カラー映画の一断面／NFCニューズレター第114号

論文 大森一樹監督インタビュー（下）ハッピーエンドで落ち着くというのが自分の映画ではしっくりこないんです。[聞き手]／NFCニューズレター第114号

論文 『しびれくらげ』／NFCニューズレター第116号

論文 芸術の日常化、日常の芸術化——千葉泰樹作品における歌うこと／NFCニューズレター第118号

論文 千葉泰樹フィルモグラフィ／千葉泰樹年譜／NFCニューズレター第118号

論文 井筒和幸監督インタビュー アメリカン・ニューシネマとピンク映画こそが僕の原点。[聞き手・構成]／NFCニューズレター第119号

論文 Land, Crime, and Masculinity (Lone Wolves and Stray Dogs : The Japanese Crime Film 1931-1969 (Yale University)、平成27年1月)

展覧会カタログ 作品解説 タイタニック／「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」展

展覧会カタログ 作品解説 有名になる方法教えます／「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」展

発表 震災映像の想像力と市井の人々～京大所蔵関東大震災記録フィルムをめぐる～／京都大学アカデミック・デイ2014（会場：京都大学、平成26年9月28日）

発表 関東大震災記録映画の発見とその映画史的意義／ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別講演会 関東大震災記録映画フィルムの発見—デジタル保存とその活用（会場：フィルムセンター大ホール、平成26年10月11日）

発表 Genre and Depiction of Violence／Lone Wolves and Stray Dogs : The Japanese Crime Film 1931-1969（イェール大学、平成27年2月15日）

発表 関東大震災フィルムの発見とその映画史的意義／記録映画アーカイブ・プロジェクト第3回ミニ・ワークショップ（会場：東京大学、平成27年3月13日）

◆大傍正規

論文 日露戦争記録映画群のカタログングージョセフ・ローゼンタール撮影『旅順の降伏』の複数バージョン／『東京国立近代美術館研究紀要』第19号、2015年

論文 外式コニカラー、色褪せぬ淡彩／『NFCニューズレター』第114号、2014年4-5月号

論文 第一次世界大戦から100年を迎えて—デジタル化の推進とアナログ技術の継承／『NFCニューズレター』第116号、2014年8-9月号

論文 複数バージョンとデジタル復元の現在／『NFCニューズレター』第117号、2014年10-11月号

論文 映画フィルムのデータベース化と「フィルム調査カード」の作成プロセス／NFCニューズレター第119号、2015年2-3月号

論文 アートダイアリー07：フィルム映写を支える技術スタッフたち／(『文化庁広報誌ぶんかる』(文化庁Web広報誌、平成26年12月)

発表 War films in the Far East : Cataloguing the war films before the World War I / 国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)会議(会場：マケドニア・スコピエ、平成26年5月6日)

発表 東京国立近代美術館フィルムセンターにおける復元の取り組み／映画の復元と保存に関するワークショップ(会場：京都文化博物館、平成26年8月24日)

◆佐々木淳

論文 大森一樹監督インタビュー(下) ハッピーエンドで落ち着くというのが自分の映画ではしっくりこないんです。[聞き手・構成]／NFCニューズレター第114号

論文 井筒和幸監督インタビュー アメリカン・ニューシネマとピンク映画こそが僕の原点。[聞き手・構成]／NFCニューズレター第119号

◆榎本章(執筆・発表者名=とちぎあきら)

論文 小津安二郎カラー作品のデジタル復元を支えた3つの力／『NFCニューズレター』第115号、2014年6月-7月号

論文 映像資料のヘルスケア—映画フィルムの物性と複製可能性から考える／(『博物館研究』Vol.49 No.10、公益財団法人 日本博物館協会、平成26年9月)

論文 『格子なき図書館』映画フィルムの収集と保存をめぐる／(DVD解説『映像でみる戦後日本図書館のあゆみ』、公益財団法人 日本図書館協会、平成26年10月)

発表 フィルム生産縮小時代における「フィルム・アーカイブ」／立命館大学映像学部(会場：立命館大学、平成26年5月14日)

発表 東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館映画保存棟Ⅱにおける映画フィルムの取り扱いについて／日本写真学会(会場：千葉大学、平成26年度5月26日)

発表 記録映画の保存と活用を考えるVol.2／ゆふいん文化・記録映画祭(会場：湯布院公民館、平成26年6月28日)

発表 Japan Speaks Out : Restoring Early Japanese Sound Film / Film Restoration Summer School / FIAF Summer School 2014 (会場：UNI one Auditorium, Bologna)

発表 Fシネマ・プロジェクト～フィルムの上映環境を確保するために／コミュニティシネマセンター(会場：フィルムセンター6階会議室、平成26年10月23日)

発表 映画を復元するとはどういうことか／金沢21世紀美術館（会場：金沢21世紀美術館、平成26年11月9日）

発表 経済活動としてのフィルム・アーカイビング～東京国立近代美術館フィルムセンターの場合～／日本大学芸術学部（会場：日本大学芸術学部、平成26年11月26日）

発表 フィルムを残す、フィルムで残す～ビネガーシンドロームの脅威と向き合いながら／東京工芸大学（会場：東京工芸大学厚木キャンパス、平成26年12月13日）

発表 フィルム・アーカイブは映画をどのように扱うのか—松本俊夫監督作品『銀輪』（1956年）をめぐって／アーカイブサミット組織委員会（会場：千代田区立日比谷図書文化館、平成27年1月26日）